

ピアサポーターによる普及啓発活動

-リカバリーストーリーを聴く-

医療法人水明会佐潟荘 総合相談室

平成 30 年 11 月 8 日 新潟市保健衛生部こころの健康センターが主催のピアサポーターによる普及啓発活動の一環として「リカバリーストーリーを聴く」と題して、当事者体験談の発表をしていただきました。当日は、コーディネーターとして社会福祉法人 新潟しなの福社会 就労移行支援・就労継続 B 型 あどばんす施設長と当事者の方に対談のような形で語っていただきました。何回か入院歴がある当事者の方が、10 年以上入院することなく、地域で様々な支援を受けながら単身生活を送られていました。当事者の方が話す中で『入院と地域での生活で大きな違いは、責任はあるが当たり前の方が出来る、選択する自由がある、風を感じられる』と語られたことがとても素敵な表現で印象に残っています。当事者の方は、自分の生活をより良いものにするために、例えばヘルパーの希望だけでなく自身の気持ちを伝えることをされていました。我々は、そういった当事者の方の気持ちをしっかり受けとめること、また、当事者の方が気持ちを伝えたいと思える支援者でありたいと改めて感じさせられました。40 分間という短い時間でしたが、とても有意義で勉強になる時間でした。